

過労死防止基本法制定 全国いっせいで街頭署名 岡山市表町商店街で12人で94筆の署名

1月21日、「ストップ！過労死 100万人署名」の全国一斉街頭署名活動が呼びかけられ、岡山県では、岡山過労死を考える家族の会、岡山県過労死・労災職業病連絡センター、岡山県労働組合会議の共同として、岡山市表町商店街で12時15分から1時間の宣伝、署名活動をしました。

これには、家族の会5人、過労死センター4人、県労会議3人の12人が参加し、94筆の署名が寄せられました。地元テレビも街頭署名活動や遺族の声を取材し、夕刻に報道される予定です。

家族の会の渡辺さん、中上さん、森さんが自分の夫や父を過労で亡くし、労災申請や裁判でたたかってきたことを訴え、こうしたことを繰り返さないためにも、①国が過労死はあってはならないと宣言し②過労死をなくすための国・自治体・事業主の責任を明確にし、③国が調査・



岡山市表町商店街で街頭署名を訴える家族の会渡辺さん



訴える家族の会森さん



訴える家族の会中上さん

研究を行い、総合的な対策を行うことを定める「過労死防止基本法」を制定することが必要で、その署名への協力をとマイクで訴え、チラシを配布しました。過労死弁護団の清水弁護士、県労会議伊原事務局長、県過労死センター藤田事務局長、谷本事務局次長らも土曜日の午後の買い物客らに署名を呼びかけました。

家族連れの奥さんは「主人の会社でも、うつ病の人が出るなど、心配している」と言いながら署名に応じていました。また、「これは、絶対になくさないといけん」といって応じる女性などもありました。

高梁市職員森過労死訴訟

1月11日結審、5月30日に判決となりました。当日、7875筆の署名を岡山地裁に提出しました。ご協力ありがとうございました。